

社団医療法人 養生会 月刊発行新聞

# かしま HOT 通信

## 3月号 Vol.398

令和8年(2026年)3月1日発行

■編集/かしま病院広報企画室  
■発行/社団医療法人養生会

〒971-8143  
福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1  
tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ご意見・ご感想は...  
上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。  
かしま病院広報企画室 まで  
kouhou@kashima.jp

ホームページ <https://www.kashima.jp>

かしま病院

検索



スマートフォンをご利用の方は、  
QRコードを読み取り、アクセスしてください。  
PCサイトと同じ内容でご覧頂けます。



- 1 2 **巻頭特集**
  - ①かしま病院 令和7年度の振り返り
  - ②専攻医退任のご挨拶
- 3 第101回 常磐医学会 参加報告  
リハビリポスト (180)  
総合診療専攻医の  
新・ようこそ家庭医療へ! (193)
- 4 2026ふくしま  
病院合同説明会に参加しました!  
第3回 医と地セミナー 開催報告  
養生兄弟ぬいぐるみ完成報告  
ケアハウスかしま通信

## 看護学生向け Internship インターンシップ 開催!!

かしま病院の看護を体験してみませんか?

日時 **第1回 3月19日(木)** 締切 3/12(木)  
9:00 ~ 15:00

日時 **第2回 3月26日(木)** 締切 3/19(木)  
9:00 ~ 15:00

定員 各日 **6名** (各病棟2名)

### 内容

- ・オリエンテーション
- ・職場体験

### 申し込み方法

当院ホームページより  
お申込みください。



ご不明な点やご質問などがございましたら、お問い合わせください。

Email:kango@kashima.jp 担当:看護部 黒田 TEL:0246-58-8010 (代表)

開催日時		スケジュール	
3月19日(木)	3月26日(木)	9:00	受付・集合
		9:40	オリエンテーション
		12:30	昼食休憩
		13:30	職場体験
		14:30	休憩
		14:40	振り返り
		15:00	退室・終了
体験病棟		定員	6名 (各病棟2名)
回復期リハビリ病棟(西3病棟) 地域包括医療棟(東2病棟) 地域包括ケア病棟(西2病棟)		申し込み先 〒971-8143 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1 看護部 黒田	

## 巻頭特集

- ① かしま病院 令和7年度の振り返り
- ② 専攻医退任のご挨拶

令和7年8月に、西3病棟を地域包括ケア病棟から回復期リハビリテーション病棟に転換。回復期リハビリ病棟入院料5からスタートし、令和8年1月に入院料1となり、リハビリ提供体制を強化しました。

また、西3病棟でも365日リハビリを提供する体制を整え、医師・看護師・リハビリスタッフ・社会福祉士など多職種で、患者さんの早期の在宅復帰・社会復帰・退院後の方向性を踏まえ、個々に合わせたリハビリを考えます。



### 病床機能転換 ~リハビリ提供体制の強化~



よりよい医療を目指して

## かしま病院 令和7年度の 振り返り

**地**域医療のさらなる充実を目指して、病床機能の転換や訪問歯科の開設など新たな一歩を踏み出した一年。その取り組みをご報告いたします。

令和7年10月より、新たに歯科が開設となりました。現在は訪問歯科を中心に診療をしています。訪問歯科では、様々な理由で歯科医院への通院が難しい方を対象に、住み慣れた場所ですぐに歯科診療が受けられるように歯科医師や歯科衛生士がご自宅や施設を訪問します。歯科医院と同じような治療を提供できるように、持ち運びできる歯科治療機器を使用します。虫歯の治療から入れ歯の作成、口腔ケアなど幅広く対応しています。

### 歯科の開設 ~訪問歯科診療を中心に~





ここでの経験を未来へつなぐ

# 専攻医 退任のご挨拶

**当**

院では、総合診療の専門医資格取得のために学ぶ専攻医を受け入れています。

今年度当院総合診療科に着任した5名の医師のうち、3名が3月いっぱい研修を修了して次の勤務地へと向かいます。

退任される先生方から、退任のあいさつを頂きましたのでご紹介いたします。



総合診療科  
高田 修磨 先生  
Shuma Takada

はじめにこの一年間かしま病院で私に関わっていただきましたすべての方に御礼申し上げます。かしま病院の理念である地域医療と全人的医療について非常に深く学ぶことが出来た一年でした。ご高齢の方を中心に体調を崩されたのちどのような後の人生を歩むのか、それはとても大きな問題です。私は未熟者でしたが看護師やリハビリスタッフ、社会福祉士、栄養士、その他多くの方々に支えられながら患者さんやご家族をはじめとした周囲の方々と向き合っ

いき、皆にとつてより良い未来につなげられた一つ一つの出来事がとても大きな喜びでした。

ご自身の力でよくなっていく患者さんの姿に感銘を受け、ご家族の力でその自然治癒力を増幅させているのを目の当たりにしました。

我々医療者はそれを支える手助けであることを今一度再確認し、決して医師の力だけで治しているなどと驕らぬよう今後とも精進してまいります。

惜しむらくは一年でかしま病院を離れなければならないというところで。ご縁があればまたかしま病院で働かせていただければと思います。最後になりましたがかしま病院に関わる全ての方のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

かしま病院の理念である地域医療と全人的医療について非常に深く学ぶことが出来た一年でした。ご高齢の方を中心に体調を崩されたのちどのような後の人生を歩むのか、それはとても大きな問題です。私は未熟者でしたが看護師やリハビリスタッフ、社会福祉士、栄養士、その他多くの方々に支えられながら患者さんやご家族をはじめとした周囲の方々と向き合っ



総合診療科  
横井 藍 先生  
Ai Yokoi

外来、病棟、救急、訪問診療と幅広い診療に関わり、内科医として必要な経験を一通り積むことができた一年でした。日々の診療の中では、医療資源や介護資源、入所施設の不足を強く感じる場面が多く、高齢化が進む地域医療の切迫感を肌で感じました。この状況はいわき市に限った話ではなく、全国各地で同じような課題に直面しているのだろうと実感しました。

また、東日本大震災の被災地でもあるこの地域で、災害を経験した方々の話を聞き、復興後の街並みや環境を自分の目で見たことは、メディアや文献だけでは学べない貴重な経験でありました。

診療を通じて自分の未熟さを痛感する毎日でしたが、その分、多職種や地域の方々に支えられて医療が成り立っていることを実感しました。この一年の経験を糧に、今後も地域に寄り添う医療を大切にしていきたいと思えます。支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。



総合診療科  
大木 美里 先生  
Misato Ooki

かしま病院の皆さま、半年間大変お世話になりました。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけしたこともあったかと存じますが、皆さまの温かいご支援とご協力のおかげで、日々の診療に真摯に向き合うことができました。心より感謝申し上げます。

この半年で特に印象に残っているのは、かしまの皆さまの温かさです。看護師の皆さまをはじめ、コメディカルの方々や常に患者さんに寄り添い、丁寧な手当てや声をかけてくださっている姿に、

何度も胸を打たれました。せん安への対応一つをとっても、「その人らしく過ごせるにはどうすればよいか」と真剣に考える姿勢に、チーム医療の本質を学ばせていただきました。

私自身も皆さまの優しさに触れながら、温かみのある診療を心がけ、患者さんとの対話を大切にしていまいました。いわき市は住みやすく魅力にあふれた素晴らしい地域であり、ここで過ごした時間はかけがえのないものです。今後はいわきで学んだことを胸に刻み、より良い医療を提供できるよう精進してまいります。またいつか何らかの形で一緒にできましたら幸いです。本当にありがとうございました。

## 編集部より

### 地域医療を支えて くださった先生方へ

短い期間でしたが、地域の医療を支える仲間として働くことができ大変うれしく思います。先生方のますますのご活躍を願っています。

なお、今年度着任した元文拓郎先生と西村優樹先生も3月で当院での研修を終えますが、非常勤医師として今後も当院での診療を継続していきます。



元文 先生



西村 先生

今後ともよろしく願いいたします。





演題

当院在宅医療への臨床検査技師の関わりについて

医療技術部 臨床検査科 野木典久



身体拘束の体験と勉強会が看護師の代替ケア実践力を高めた効果

～行動変容がもたらした実施率の減少～

看護部 阿部真澄美



免疫抑制患者における進行性意識障害の鑑別と転院判断

診療部 総合診療科 横井藍



常磐医学会は、いわき市内の医師や専門職が一同に集まり、事例発表や研究成果の報告を通して知見を共有し、いわき市の医療を発展させていくために毎年開催されています。当院からは3名が演者として発表し、看護部・阿部の演題が優秀賞である「常磐医学会部門賞」を受賞しました。今後も研鑽を積み重ね、いわき市の医療の向上に貢献してまいります。

第101回 常磐医学会 参加報告



令和8年2月28日(土)にいわきワシントンホテルにて第101回常磐医学会が開催されました。今回は当院が幹事病院となり、事務局や座長など運営にも携わりました。

リハビリ POST 第180回 自動車運転について②

当院では頭部疾患や外傷などにより運転に不安を抱える方に対しては、再び運転が可能になることを目的として運転支援を行っています。支援方法としては、医師、看護師、リハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、医療ソーシャルワーカーなどが連携し、多職種で検討をします。その検討内容としてはハンドルやブレーキ操作などの身体機能、注意力や判断力などの高次脳機能、それに認知機能や視力・視野機能などを併せて評価します。それらの評価において運転は可能であろうと判断された場合には、ドライブシュミレーターでの評価、さらに実車評価へ進むということになります。ドライブシュミレーターでは実際の交通場面を

再現しており、安全な環境下で反応速度や注意力、判断力などを客観的に評価ができます。事故の危険性がある場面も繰り返し体験できるため、課題の把握だけでなく、運転に必要な能力の訓練にも有効です。次に実車評価では教習所の協力のもと、教習所内で実際に車を運転していただき、操作の安定性や周囲確認、判断力や反応速度、交通ルールが守られているかなどを確認します。実車評価では普段の運転に近い状況で評価できるため、「実際の運転で困りやすい点」や「工夫すれば安全に運転できる点」がわかります。これらの結果を多職種で共有し、運転再開の可否や運転の際の条件を検討し、無理のない形での安全な運転の再開につなげたり、運転再開が困難となった場合の代替手段を検討したり、安心した生活の再建に向けて支援を行っています。



言語聴覚士 湯田未有

総合診療専攻医の 新 ようこそ家庭医療へ!

毎日が成長痛! 専攻医の修行日記

#193

先導者ではなく、伴走者として

家庭医療に携わる医師に求められるものは、患者中心の医療、EBMの実践、地域に根ざした包括的ケアなど、多岐にわたります。いわきという地域で診療を続ける中で、私自身も多くの学びと気づきを得てきました。その中で特に大切だと感じているのは、「良い治療を提供すること以上に、「患者さんと協力しながら最善を探る姿勢」です。医療者の立場にいと、つい「医学的にはこの治療が最善だ」と考えてしまいがちです。しかし、その「最善」が、必ずしも患者さんにとっての最善とは

限りません。生活背景や価値観、これまでの人生によって、選びたい道は人それぞれです。だからこそ私は医師として、先導者ではなく、患者さんと二人三脚で歩く伴走者でありたいと思っています。思い込みを手放し、話を聴き、関係を築きながら、ともに方向を探していく。その積み重ねが、地域医療の土台になるのではないかと考えています。そして、笑顔もまた大切な「治療薬」のひとつです。医療者の笑顔が患者さんの緊張を和らげ、信頼関係を深めるきっかけになることがあります。これからも患者さんと同じ目線で向き合い、笑顔の絶えない診療を心がけていきたいと思ひます。



病院長のコメント 長老のお告げ おじいちゃん知ってるよ 石井敦病院長

「この治療が最善なはずだ」という思い込み? うむ、それは誰にでもある。じゃが、その思い込みを一度ポケットにしまえる医者は、なかなかおらん。そこに気づいたおぬしは、もう相当成長したる。 それにしても「笑顔も治療薬」とは、うまいこと言うたのお。薬価はゼロ、副作用もほとんどなし。しかも在庫切れもない。ついでに自分も楽しくなる。使わにゃ損じや。先導者でなく、伴走者。その気持ちを忘れん限り、道を踏み外すことはそうない。まあ、走りすぎて息切れせんようにな。伴走者が倒れたら、本末転倒じゃから。の。



## 2026 Fukushima 病院合同説明会に参加しました!

2月28日(土)ビッグパレットふくしまにて「2026 Fukushima病院合同説明会」が開催されました。説明会には、福島県内外の就活生が160名以上、福島県内の医療機関様が20以上参加されました。

当院からは看護部、リハビリテーション部、医療技術部臨床検査科、人事課、広報企画室、いとちプロジェクトメンバーの計9名で参加しました。看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師などを目指す学生さんに向けて、業務内容、教育体制、職場環境などを説明しました。

当院のブースには50名近くの就活生にお越しいただきました。今回の説明会を通して、将来の選択の一つになりましたら幸いです。

### 病院見学について

かしま病院では、就職を検討している方へ向けた病院見学を随時行っております。まずはお気軽にご連絡ください。職員一同お待ちしております!

お問合せ かしま病院 人事課  
0246-58-8010

ホームページ  
採用ページはコチラから



## 「第3回 医と地セミナー」を開催しました!



1月31日(土)、コミュニティホールを会場に「第3回 医と地セミナー」を開催しました。

今回は、福井県高浜町の健康のまちづくりプロデューサー

を務める福井大学医学部教授の井階友貴先生、高浜町のマスコットキャラクター「赤ふん坊や」をゲストに招き、私たちの地元で実践できる「医療のまちづくり」を考えました。当日は井階先生の講義をじっくり伺った後に、グループに分かれて対話セッションも行い、医と地で学びを深めました。

総合診療医の井階先生は、消滅可能性都市のデータから「人もまちも元気になる取り組みが必要だ」と感じ、活動の軸足をより地域に広げていきます。愛煙家のみなさんを対象に、山頂で景色を見ながら一服する「愛煙家登山」などのユニークな実践を紹介いただきました。いとちプロジェクトでも、地域のみなさん、医療の担い手とみなさんと共に、自由で対等なつながりが生まれる活動を行っていききたいと思います!



## 社会福祉法人 養生会 ケアハウスかしま 通信

豆まき

2月3日(火)



2/3 (火) ケアハウスにて節分の豆まきを行いました。かしま荘の職員が鬼に扮し登場。

入居者の皆さんは「鬼は外! 福は内!」と大きな声で、豆をまき、無病息災を願いました。その後、皆さんと恵方巻を食べ、楽しい時間を過ごしました。

## 養生兄弟のぬいぐるみが誕生!



かしま病院公式キャラクター「養生兄弟」のぬいぐるみが完成しました!

医療情報を優しく、柔らかく伝えたいという思いで生まれた養生兄弟は、院内外や

SNS、本誌、また、昨年開催された「病院ゆるキャラ総選挙」の全国大会に出場するなど、活躍の場を広げてまいりました。

ぬいぐるみの養生兄弟とともに、地域のイベントへの参加や情報発信をしてまいります。よろしくお願いたします!